

平成23年度 第2回 公共交通勉強会 ～テーマ「成功理由を探る」～

公共交通を取り巻く環境は、自家用車の普及、超高齢社会の到来など、様々な要因が複合的に重なり合う大変厳しい状況にあり、行政や交通事業者が単独で対応するには限界があります。

県では、平成19年度より毎年勉強会を開催しており、平成22年度は、相互理解を深めるため、行政と事業者を対象にした勉強会を計3回開催しました。

ただ、行政と事業者が話し合う雰囲気はできつつあるが、自発的に率直に話し合うことのできる段階までには達していないことから、平成23年度は、平成22年度に引き続き、「持続可能な公共交通とするため、行政と事業者との協働体制を構築できる環境づくりを行う内容」の勉強会を開催します。



1 平成23年度の計画について

回数	日時	場所	対象	内容（第3回は予定）
第1回	平成23年7月12日(火)	神戸市内	行政 事業者	テーマ“バスまつり”。今年9月に尼崎市で開催の「バスまつり」を参考に、イベントを活用した利用促進策の提案。
第2回	平成23年9月12日(月)			テーマ“成功理由を探る”。「たま電車」で有名な和歌山電鐵、デマンド型交通導入の熊本県菊池市、路線評価指標を導入の本県豊岡市を招聘（3団体とも地域公共交通活性化に係る国土交通大臣表彰を受賞）。ロールプレイングを通じた課題の洗い出しや、デマンド型交通の是非について検討。
第3回	平成23年11月14日(月)			テーマ“課題から学ぶ”。地域力があるにも関わらず取組が1年で終わった川西市大和団地を取り上げながら、持続可能な公共交通について検討。

2 第2回勉強会の概要について

(1) 目的： 地域公共交通活性化に係る国土交通大臣表彰を受賞の3団体を招聘し、真の成功理由を探る。

それぞれの職場に戻ったのち、事業者と行政が連携し、公共交通における諸課題の解決に取り組むことを、到達目標とする。



(2) 日時：平成23年9月12日(月) 13:00～17:30

(3) 場所：兵庫県中央労働センター 大ホール（神戸市中央区下山手通6-3-28） 第1回の会場とは異なります

(4) 主催：兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課

(5) 後援：〔行政〕国土交通省近畿運輸局、兵庫県生活交通対策地域協議会、阪神都市圏公共交通利用促進会議
〔事業者団体〕(社)兵庫県バス協会、関西鉄道協会

〔学識〕兵庫県立福祉のまちづくり研究所、交通まちづくり学研究会

(6) 対象：行政及び事業者の担当者（バス、鉄道）約100名 第1回参加者数：81名

(7) 内容：

内容		講師など	
13:00～13:10	挨拶	兵庫県交通政策課長	
13:10～13:55	講演「“たま電車” ～マスコミが取り上げない真の成功理由～」(仮)	和歌山電鐵株式会社 磯野 省吾 代表取締役専務	H21 大臣 表彰受賞
13:55～14:40	講演「菊池市の交通体系の構築 ～行政と事業者と住民との三位一体の取組～」(仮)	熊本県菊池市 経済部 商工観光課 笹本 聖一 参事	H22 大臣 表彰受賞
14:40～15:25	講演「豊岡市の交通体系の構築 ～行政と事業者と住民との三位一体の取組～」(仮)	兵庫県豊岡市 都市整備部 都市整備課 谷口 雄彦 係長	
15:25～15:40	休憩		
15:40～17:25 (WS 65分) (発表 40分)	ワークショップ（いずれかのテーマを選択） テーマ1「もしも自分が逆の立場だったら・・・ (行政 事業者)」 テーマ2「デマンド型交通の是非」	京都大学 土井 勉 特定教授 大阪大学 猪井 博登 助教 県立福祉のまちづくり研究所 北川 博巳 グループ長、天野 圭子 研究員	
17:25～17:30	事務連絡		

3 申込方法について

・別紙参加申込書により、EメールまたはFAXで、県交通政策課まで（※切：平成23年8月31日(水)）第1回に参加できなかった方や行政管理職の方のご参加も、喜んでお待ちしております。

4 その他

・公共交通に関する勉強会です。可能な限り、公共交通機関を利用のうえ、お越しく下さい。

<問い合わせ先>
兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課
地域交通係 萩、計画係 山内
TEL：078-362-3885（直通）